



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年8月4日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・アドボカシー & リレーション部長 (氏名) 藤井 郁乃 (TEL) 03(3244)3201

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	306,969	△8.1	60,815	△21.1	60,238	△21.3	50,413	△13.9	50,413	△13.9	55,426	104.9
2020年3月期第1四半期	334,134	1.5	77,086	21.3	76,528	18.7	58,518	7.3	58,518	7.3	27,045	△61.8
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年3月期第1四半期	27.14				27.12							
2020年3月期第1四半期	31.03				31.00							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,256,035	1,306,684	1,306,684	57.9
2020年3月期	2,315,169	1,289,168	1,289,168	55.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	21.00	-	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,256,500	△3.4	246,500	1.0	245,500	0.1	197,500	1.1	197,500	1.1	106.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,256,500	△3.4	251,000	△9.6	200,500	△10.2	107.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期第1四半期	1,861,787,075株	2020年3月期	1,861,787,075株
② 期末自己株式数	2021年3月期第1四半期	4,372,807株	2020年3月期	4,276,454株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期第1四半期	1,857,487,432株	2020年3月期第1四半期	1,885,959,029株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2020年8月4日(火)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	11
(1) 要約四半期連結純損益計算書	11
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	12
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	13
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	15
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	17
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	18
(継続企業の前提に関する注記)	18
(企業結合)	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第1四半期（2020年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は下表の通りです。売上収益、コア営業利益、コア四半期利益はいずれも減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2020年3月期)	当第1四半期 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	334,134	306,969	△27,165 (△8.1%)
売上原価	70,512	59,654	△10,859 (△15.4%)
販売費及び 一般管理費	117,470	120,776	+3,306 (+2.8%)
研究開発費	53,507	57,288	+3,781 (+7.1%)
無形資産償却費	7,178	5,855	△1,323 (△18.4%)
持分法による投資損益	△728	△26	+702 (-)
コア営業利益	84,738	63,370	△21,368 (△25.2%)
コア四半期利益	67,101	51,990	△15,111 (△22.5%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	35.58	27.99	△7.59 (△21.3%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

売上収益は3,070億円（前年同期比8.1%減）となりました。

- ・ 主力製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジの売上が引き続き拡大しました。急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタは日本と米国で伸長したことに加え、2019年11月に欧州において発売したことで売上が増加しました。加えて、2019年12月に米国で発売された尿路上皮がん治療剤PADCEVの共同販促収入が売上収益に貢献しました。
- ・ これにより、欧州における過活動膀胱（OAB）治療剤ベンケアの独占販売期間満了や日本における喘息治療剤シムビコート、KMバイオロジクス株式会社のヒト用ワクチン、高血圧症治療剤ミカルディスファミリーの契約終了などによる売上減少を補いました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって売上がマイナスの影響を受けました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、2,473億円（同6.2%減）となりました。売上原価率は、主に製品構成の変化により前年同期に比べ1.7ポイント低下し、19.4%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、1,208億円（同2.8%増）となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い営業活動等を自粛したことなどによる経費の減少がありましたが、XTANDIの米国での売上拡大に伴う共同販促費用の増加により、総額として増加しました。
- ・ 研究開発費は、573億円（同7.1%増）となりました。新型コロナウイルスの感染拡大が一部の臨床試験の実施に影響したことによる開発費用の減少などがありましたが、重点後期開発品の開発費用の増加や2020年1月に買収したAudentes社の研究開発費が加わったことにより、総額として増加しました。売上収益研究開発費比率は、前年同期に比べ2.6ポイント増加し、18.7%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、59億円（同18.4%減）となりました。

以上の結果、コア営業利益は634億円（同25.2%減）、コア四半期利益は520億円（同22.5%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、前第1四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては71億円の減少、コア営業利益においては58億円の減少の影響がありました。

期中平均レート	前第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	110	108	2円高
ユーロ/円	123	118	5円高

期首・期末の変動	前第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	3円高	1円高
ユーロ/円	2円高	2円安

<連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は下表の通りです。売上収益、営業利益、税引前四半期利益、四半期利益はいずれも減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第1四半期における「その他の収益」は22億円（前年同期：45億円）、「その他の費用」は48億円（同：122億円）となりました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2020年3月期)	当第1四半期 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	334,134	306,969	△27,165 (△8.1%)
営業利益	77,086	60,815	△16,272 (△21.1%)
税引前四半期利益	76,528	60,238	△16,290 (△21.3%)
四半期利益	58,518	50,413	△8,106 (△13.9%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	31.03	27.14	△3.89 (△12.5%)
四半期包括利益	27,045	55,426	+28,381 (+104.9%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第1四半期 (2020年3月期)	当第1四半期 (2021年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	960	1,120	+16.6%
ゾスパタ	25	56	+128.3%
PADCEV	—	30	—
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	399	404	+1.2%
ベシケア	136	77	△43.0%
プログラフ*	504	453	△10.2%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

- ・ XTANDI/イクスタンジの売上は1,120億円（前年同期比16.6%増）となりました。日本、米国、グレーターチャイナ*¹及びインターナショナル*²で売上が拡大しました。
- ・ ゾスパタは日本、米国で売上が拡大したことに加え、2019年11月に発売した欧州での売上也貢献し、売上は56億円（同128.3%増）となりました。
- ・ PADCEVの米国での売上が期待を上回って拡大したことから、共同販促収入は30億円となりました。
- ・ OAB治療剤ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上は404億円（同1.2%増）となりました。米国及びグレーターチャイナで売上が拡大しましたが、日本及びインターナショナルでは新型コロナウイルスの感染拡大の影響による受診抑制に伴う需要減のため売上が減少しました。
- ・ ベシケアの売上は、欧州において独占販売期間満了に伴う後発医薬品発売の影響を受け、77億円（同43.0%減）となりました。
- ・ プログラフの売上は453億円（同10.2%減）となりました。日本、エスタブリッシュドマーケット*³及びインターナショナルの売上が減少しました。
- ・ 日本では、糖尿病治療剤スーグラとスー ज्याヌ配合錠、骨粗鬆症治療剤イベニティ等の新製品群の売上が引き続き拡大しました。シムビコート、KMバイオロジクス株式会社のヒト用ワクチン及びミカルディスファミリーについて、前期において販売契約を終了したことが売上の減少要因となりました。
- ・ 米国では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による受診抑制に伴う需要減のため、心機能検査補助剤レキシキャンの売上が減少しました。

*1 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*2 インターナショナル：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

*3 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表の通りです。米国は増加、日本、エスタブリッシュドマーケット、グレートチャイナ及びインターナショナルは減少しました。

グレートチャイナは為替の影響を受けて減少しましたが、その影響を除くと増加しました。

(単位：億円)

	前第1四半期 (2020年3月期)	当第1四半期 (2021年3月期)	増減率
日本	985	778	△21.0%
米国	1,053	1,172	+11.3%
エスタブリッシュド マーケット	758	640	△15.5%
グレートチャイナ	147	142	△3.4%
インターナショナル	342	302	△11.8%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期において、2020年1月に買収したAudentes社の取得資産と引受負債の公正価値を修正したことにより前期末の連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、遡及修正前と比較し、のれんが増加、無形資産と繰延税金負債が減少しました。なお、当該公正価値の測定は継続中です。

当第1四半期末（2020年6月30日時点）の連結財政状態計算書の概要及び遡及修正後の前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第1四半期末における総資産は2兆2,560億円（前期末比591億円減）となりました。

<非流動資産>当第1四半期末：1兆4,601億円（同124億円増）

- ・有形固定資産は2,671億円（同15億円減）となりました。
- ・のれんは2,769億円（同14億円減）、無形資産は7,294億円（同46億円増）となりました。当第1四半期に、欧州で腎性貧血治療剤ロキサデュスタットの販売承認申請を行ったことに伴い、共同開発を行っているFibroGen社に対して、開発の進捗に応じた支払いが発生したことで無形資産が増加しました。

<流動資産>当第1四半期末：7,960億円（同715億円減）

- ・現金及び現金同等物は2,399億円（同785億円減）となりました。

【資本】

資本合計は、1兆3,067億円（同175億円増）となり、親会社所有者帰属持分比率は57.9%となりました。

- ・四半期利益504億円を計上した一方で、剰余金の配当372億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、9,494億円（同767億円減）となりました。

<非流動負債>当第1四半期末：3,017億円（同744億円増）

- ・その他の金融負債は2,083億円（同790億円増）となりました。当第1四半期において、短期借入金から長期借入金へ800億円の借り換えを実施したことにより、増加しました。

<流動負債>当第1四半期末：6,477億円（同1,510億円減）

- ・当第1四半期末の残高は短期社債1,760億円、短期借入金400億円となりました。上述の長期借入金への借り換え及び返済などによりその他の金融負債は2,357億円（同1,100億円減）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、216億円（前年同期比142億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額が33億円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△283億円（同143億円支出増）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△730億円（同326億円支出増）となりました。

- ・ 配当金の支払額は372億円（同13億円増）となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、2,399億円（前期末比785億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。
当期（2021年3月期）の通期連結業績予想は以下のとおりです。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	期初予想 (2021年3月期)	修正予想 (2021年3月期)	差異	通期実績 (2020年3月期)
売上収益	1,282,000	1,256,500	△25,500	1,300,843
研究開発費	239,000	233,500	△5,500	224,226
コア営業利益	257,000	251,000	△6,000	277,758
コア当期利益	206,000	200,500	△5,500	223,178
基本的1株当たり コア当期利益（円）	110.90	107.94	△2.96	118.95

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	期初予想 (2021年3月期)	修正予想 (2021年3月期)	差異	通期実績 (2020年3月期)
売上収益	1,282,000	1,256,500	△25,500	1,300,843
営業利益	252,000	246,500	△5,500	243,991
税引前利益	251,000	245,500	△5,500	245,350
当期利益	202,000	197,500	△4,500	195,411
基本的1株当たり 当期利益（円）	108.75	106.32	△2.43	104.15

[通期の想定為替レート]

2021年3月期（想定）：109円／米ドル、120円／ユーロ

2020年3月期（実績）：109円／米ドル、121円／ユーロ

2020年5月に公表した業績予想(以下、期初予想)に織り込んでいなかった新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響及び当第1四半期の実績等を反映し、業績予想を修正しました。

コアベースの業績予想は、売上収益、コア営業利益及びコア当期利益を下方修正しています。

主力製品であるXTANDI/イクスタンジの売上及びPADCEVの共同販促収入は期初予想を上回る見通しです。一方、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、前期に市場での流通在庫積み増しにより売上が増加した反動や、患者の受診抑制があったことなどから、泌尿器OAB製品群及びレキスキャン、プログラフなどの売上が期初予想を下回る見込みです。以上の結果、売上収益は1兆2,565億円(期初予想から255億円の下方修正)を予想しています。

費用面では、営業活動等の自粛による行動制限や一部の臨床試験の実施への影響など、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い費用が減少したことに加え、Operational Excellenceの追求によるさらなるコスト効率化が推進したことにより、販売費及び一般管理費、研究開発費ともに期初予想を下回る見通しです。

以上の結果、当期のコア営業利益、コア当期利益は、それぞれ2,510億円(期初予想から60億円の下方修正)、2,005億円(期初予想から55億円の下方修正)を予想しています。

なお、この修正予想において見込んでいる新型コロナウイルスの感染拡大による業績へのマイナスの影響を除くと、売上収益、コア営業利益とも期初予想を上回る見込みです。

フルベースの業績予想は、コアベースの業績予想修正に加え、当第1四半期に計上した「その他の収益」及び「その他の費用」並びにそれらの今後の発生見込み等を踏まえ、営業利益、税引前利益及び当期利益を下方修正しています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	334,134	306,969
売上原価	△70,512	△59,654
売上総利益	263,622	247,315
販売費及び一般管理費	△117,470	△120,776
研究開発費	△53,507	△57,288
無形資産償却費	△7,178	△5,855
持分法による投資損益	△728	△26
その他の収益	4,522	2,245
その他の費用	△12,174	△4,800
営業利益	77,086	60,815
金融収益	766	379
金融費用	△1,325	△956
税引前四半期利益	76,528	60,238
法人所得税費用	△18,010	△9,825
四半期利益	58,518	50,413
四半期利益の帰属 親会社の所有者	58,518	50,413
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.03	27.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.00	27.12

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	58,518	50,413
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△4,224	4,572
確定給付制度の再測定	△908	273
小計	△5,132	4,845
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△26,342	168
小計	△26,342	168
その他の包括利益	△31,473	5,013
四半期包括利益合計	27,045	55,426
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	27,045	55,426

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	268,600	267,107
のれん	278,253	276,874
無形資産	724,773	729,400
売上債権及びその他の債権	34,014	34,019
持分法で会計処理されている投資	4,692	4,875
繰延税金資産	52,876	55,487
その他の金融資産	74,264	81,991
その他の非流動資産	10,184	10,303
非流動資産合計	1,447,655	1,460,056
流動資産		
棚卸資産	151,017	155,073
売上債権及びその他の債権	347,042	360,717
未収法人所得税	23,556	16,087
その他の金融資産	9,459	4,590
その他の流動資産	18,049	19,577
現金及び現金同等物	318,391	239,934
流動資産合計	867,514	795,979
資産合計	2,315,169	2,256,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,506	177,183
自己株式	△7,178	△7,423
利益剰余金	905,851	918,890
その他の資本の構成要素	109,989	115,034
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,289,168	1,306,684
資本合計	1,289,168	1,306,684
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	3,142	2,822
繰延税金負債	24,670	20,801
退職給付に係る負債	38,074	38,594
引当金	6,135	7,600
その他の金融負債	129,272	208,251
その他の非流動負債	25,999	23,610
非流動負債合計	227,293	301,678
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	171,954	132,649
未払法人所得税	4,009	12,142
引当金	14,241	14,511
その他の金融負債	345,707	235,685
その他の流動負債	262,797	252,686
流動負債合計	798,708	647,672
負債合計	1,026,001	949,351
資本及び負債合計	2,315,169	2,256,035

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2019年4月1日残高	103,001	177,301	△164,629	991,957	1,127	125,656
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	58,518	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△26,342
四半期包括利益合計	—	—	—	58,518	—	△26,342
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
自己株式の処分	—	△313	436	△87	△37	—
自己株式の消却	—	—	159,581	△159,581	—	—
配当金	—	—	—	△35,831	—	—
株式報酬取引	—	99	—	—	—	—
振替	—	—	—	△564	—	—
所有者との取引額合計	—	△214	160,016	△196,063	△37	—
2019年6月30日残高	103,001	177,087	△4,613	854,412	1,090	99,315

2020年4月1日残高	103,001	177,506	△7,178	905,851	899	93,277
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	50,413	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	168
四半期包括利益合計	—	—	—	50,413	—	168
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△880	—	—	—
自己株式の処分	—	△444	635	△168	△23	—
配当金	—	—	—	△37,150	—	—
株式報酬取引	—	121	—	—	—	—
振替	—	—	—	△55	—	—
所有者との取引額合計	—	△322	△245	△37,374	△23	—
2020年6月30日残高	103,001	177,183	△7,423	918,890	876	93,445

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2019年4月1日残高	23,984	—	150,767	1,258,396	1,258,396
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	58,518	58,518
その他の包括利益	△4,224	△908	△31,473	△31,473	△31,473
四半期包括利益合計	△4,224	△908	△31,473	27,045	27,045
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1
自己株式の処分	—	—	△37	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△35,831	△35,831
株式報酬取引	—	—	—	99	99
振替	△343	908	564	—	—
所有者との取引額合計	△343	908	528	△35,733	△35,733
2019年6月30日残高	19,416	—	119,821	1,249,708	1,249,708

2020年4月1日残高	15,813	—	109,989	1,289,168	1,289,168
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	50,413	50,413
その他の包括利益	4,572	273	5,013	5,013	5,013
四半期包括利益合計	4,572	273	5,013	55,426	55,426
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△880	△880
自己株式の処分	—	—	△23	0	0
配当金	—	—	—	△37,150	△37,150
株式報酬取引	—	—	—	121	121
振替	328	△273	55	—	—
所有者との取引額合計	328	△273	32	△37,909	△37,909
2020年6月30日残高	20,713	—	115,034	1,306,684	1,306,684

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	76,528	60,238
減価償却費及び無形資産償却費	17,012	17,999
減損損失(又は戻入れ)	—	3,295
金融収益及び金融費用	558	577
棚卸資産の増減額	△3,482	△3,197
売上債権及びその他の債権の増減額	△22,011	△13,226
仕入債務及びその他の債務の増減額	△44,988	△30,222
その他	△5,627	△10,558
小計	17,990	24,906
法人所得税の支払額	△10,578	△3,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,412	21,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,342	△7,586
有形固定資産の売却による収入	30	8
無形資産の取得による支出	△3,156	△25,676
子会社の取得による支出	△5,138	△1,667
利息及び配当金の受取額	646	347
その他	975	6,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,985	△28,330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	—	△110,000
長期借入れによる収入	—	80,000
自己株式の取得による支出	△1	△880
親会社の所有者への配当金の支払額	△35,831	△37,150
リース負債の返済による支出	△4,003	△4,302
その他	△520	△644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,354	△72,977
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△4,725	1,250
現金及び現金同等物の増減額	△51,652	△78,457
現金及び現金同等物の期首残高	311,074	318,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	259,422	239,934

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

Audentes Therapeutics, Inc. の取得

現金による株式公開買付により、Audentes Therapeutics, Inc. は2020年1月15日に当社の連結子会社となっています。

当第1四半期連結累計期間において、当該企業結合における取得日現在の取得資産及び引受負債の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、下記のとおり、一部の取得資産及び引受負債の暫定的な公正価値を修正しています。なお、当該公正価値の測定は継続中であるため、企業結合の当初の会計処理は完了していません。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末の 暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
有形固定資産	8,964	—	8,964
無形資産	284,944	△13,723	271,221
FVTOCIの金融資産(負債性)	22,248	—	22,248
現金及び現金同等物	9,320	—	9,320
その他の資産	1,708	—	1,708
仕入債務及びその他の債務	△6,092	—	△6,092
繰延税金負債	△41,517	2,989	△38,528
その他の負債	△6,488	—	△6,488
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	273,085	△10,734	262,351
のれん	42,497	10,734	53,230
合計	315,582	—	315,582
支払対価の公正価値の合計	315,582	—	315,582

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

FVTOCIの金融資産(負債性)は、要約四半期連結財政状態計算書の「その他の金融資産」に含まれています。

この修正に伴い、前連結会計年度の要約四半期連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、前連結会計年度の無形資産及び繰延税金負債がそれぞれ13,734百万円及び2,992百万円減少し、のれんが10,743百万円増加しています。